

国際物流戦略チームの今後の取り組みについて

今後、早急に取り組んでいくべき施策(案)

平成19年度に一開港化がなされたことを契機に、大阪湾諸港の連携をさらに推し進めるとともに、完全24時間化となった関西国際空港を活用し、関西の国際競争力強化を図るため、以下の事項を集中的かつ早急に取り組む。

【港と港の連携】

- 大阪湾諸港の連携を更に深化させるとともに、瀬戸内海諸港との連携強化を行い、近畿の国際競争力を強化。(手続一元化・IT化、ポータルサイト、集荷機能強化方策等)
- スーパー中枢港湾「阪神港」の特定国際コンテナ埠頭に近接した臨海部物流拠点を形成。
- 関西の災害時における国際物流機能確保のための、事業継続計画(BCP)策定に向けた取り組みを進め、関西の国際物流の信頼性を向上。
- 舞鶴港等の日本海側の港との連携、役割分担を行い、関西全体の効率的な物流体系を構築。
- 大阪湾諸港・空港の世界へのPRと関西と海外との交易・交流の拡大のための“ミッション”実施。

【港と道路の連携】

- スーパー中枢港湾「阪神港」や関西国際空港が持つ広域的な背後ネットワークの接続による国際競争力強化および関西の産業、経済および都市の再生のため、新名神高速道路、第二京阪道路、大阪湾岸道路西伸部、都市再生環状道路(大和川線、淀川左岸線 期・ 期と淀川左岸線延伸部)、京奈和自動車道、名神湾岸連絡線や京都縦貫自動車道等の京阪神地域の広域幹線道路の整備促進及び計画の具体化。
- 既存高速道路ネットワークの効率的活用による物流の効率化、都市部の深刻な渋滞の解消等を図るため、料金社会実験等の結果を踏まえた効果的な料金施策の実施。

今後、早急に取り組んでいくべき施策(案)

【海港と空港の連携】

- 完全24時間空港である関西国際空港の物流機能を更に強化し、国際総合物流拠点を形成。
- 国際貨物ハブ空港にふさわしい関西国際空港における国際航空ネットワークの充実。
- 関西国際空港の高コスト構造を政策的に是正。
- 深夜早朝における更なる便数拡大と就航地点拡大を図り、完全24時間空港を活かした効率的な物流システムの構築に向け、北米便貨物ネットワーク強化等のモデル事業の取り組みの実施。

【調査研究機関の設置】

- 諸外国の経済及び諸外国との物流に関する情報の収集及び提供、調査及び研究等をおこなうことにより、関西の国際物流機能の強化を促進し、関西経済の発展に寄与するとともに、国際社会に貢献するために、シンク&ドゥー タンクの設置。
- 我が国の国際海上コンテナ貨物について、流動実態を平成20年度に調査し、国際物流の効率化に資する施策を検討。

港と港の連携

大阪湾諸港の包括的な連携の更なる深化など
関西の港の産業競争力強化

- スーパー中枢港湾「阪神港」の国による重点整備と、公設民営方式の高規格コンテナターミナルを早期に実現
- 大阪湾諸港の一開港化に向け、現在の業務形態への影響に配慮しつつ、所要の手続きを平成19年内に実施
- 湾内各港での手続きの標準化、様式の統一および国が進めるシングルウィンドウシステムと連携した手続きの電子化
- 大阪湾諸港・空港の世界へのPRと関西と海外との交易・交流の拡大のための“ミッション”を実施
- 将来的に「大阪湾ポートオーソリティー」を目指していくが、大阪湾諸港が一つの港のように機能し、利用される港を早期に実現
- 内航フィーダー輸送の競争力強化による大阪湾諸港と瀬戸内海諸港との連携促進
- スーパー中枢港湾「阪神港」の特定国際コンテナ埠頭に近接して、「産業競争力強化ゾーン」を形成
- JCL-netの利活用の促進やIT基盤の充実によるSCM支援を進め、異業種間ユーザーが連携した物流の最適化を促進
- 関西の港湾活動の事業継続計画（BCP）策定に向けた検討
- 日本海沿岸諸港などの各地域の港それぞれの優位性を活かし、大阪湾諸港との適切な機能分担 等

港と道路の連携

国際物流基幹ネットワークの形成

- スーパー中枢港湾「阪神港」や関西国際空港が持つ広域的な背後ネットワークの接続による国際競争力強化等のための京阪神地域の広域幹線道路の早期整備のため、積極的な国費の充当による高規格幹線道路等相互の接続や途切れた区間の整備による早期課題解決とともに、複雑で割高な道路料金体系の早期是正
- スーパー中枢港湾に係る道路交通のボトルネックを平成22年度までに解消し、国際標準コンテナ車が走行できる道路ネットワークを早期に構築 等

海港と空港の連携

関西国際空港を活用した航空物流機能強化

- 国際中継物流拠点の構築（戦略的な国際航空ネットワーク形成）
- 航空交渉の更なる促進、通関等の輸出入制度の簡素化・迅速化
- 完全24時間空港を活かした効率的な物流システムの構築・普及
- 関西国際空港の高コスト構造を政策的に是正
- 2期用地を利用した総合物流拠点の構築（Sea&Air輸送やVMI倉庫等） 等



これからの国際物流戦略チームの方向性

- 本提言の戦略チーム一丸となつての取り組みと定期的なフォローアップ
- 国際物流戦略チームのもと、関西において国際物流に関する先進的な調査研究を行うとともに、国際物流効率化や産業競争力強化に向けた具体的な活動を行う産学官連携による検討組織の設置について検討 等